

# 声を届ける回路

## Scientists and/as Citizens



Berd . All Rights Reserved

「自分は研究者だから政治はわからない」が、「政治家や文科省の学術政策が間違っている」という発言は大学人からよく聞かれる台詞である。

しかし、逆に自分の専門分野について無知な人から、「あなたの研究は間違っている」と発言をされた場合に、平静を保っていられる研究者はどの程度いるだろうか。

大学と学術を取り巻く環境の悪化はとどまる気配がない。大学も学術も社会に埋め込まれている存在であるのだから、その環境を変える手続きは政治である。しかし、大学人の多くは政治を忌避、あるいは無視しているのが現状だろう。

ただ不平不満を唱えるだけで終わるのではなく、正当な手続きで学術や大学をとりまく環境を変え、研究を社会に還元するために、われわれはまず学ぶことから始めねばならない。

そこで本シンポジウムでは、講演者にそれぞれの視点から、学術と政治について講演頂き、政治が学術と大学にもたらせること、学術と大学が社会に貢献できることについて理解を深めたい。パネルディスカッションでは、研究者と政治をつなぐ回路と、社会と大学をつなぐ回路を機能させるために、われわれにできることを議論したい。

### 第1部 講演 13:30-15:30



大草 芳江

(NPO法人natural science理事)

知的好奇心がもたらす  
心豊かな社会の創造にむけて  
～科学・技術教育の実践と今後の活動方針～



標葉 隆馬

(成城大学文芸学部准教授)

科学技術・学術研究の  
社会的基盤と科学技術政策



川口 康平

(香港科技大学ビジネススクールAssistant Professor)

大学改革の『失敗』?  
:どう検証すればよいのか

### 第2部 パネルディスカッション 15:45-17:15

「回路をつなぐために」

パネリスト:

大草芳江、標葉隆馬、川口康平、当真賢二(FRIS准教授)

ファシリテーター:

田村光平(FRIS助教)

### 第3部 情報交流会(¥1,000) 17:15-18:45

2020. 2 / 28 Fri.  
13:30-18:45

学際科学フロンティア研究所 / 学際高等研究教育院 1階セミナー室

